

令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	7	学 校 名	伊豆総合高等学校土肥分校	校 長 名	所 康俊
------	---	-------	--------------	-------	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	教育相談機能の発展的継続により、生徒のこころの安定とからだの成長を図る。	年間2回の校内研修の実施。	第1回：個別の指導計画について（12月） 第2回：障害理解と支援について（2月）	A	来年度は年度の初めに研修を行うことで、研修の内容を年度内で教職員が活かせるよう計画したい。
		月間1回の教育相談連絡会実施。生徒アンケート「困ったときに相談できる人がいる」の“当てはまる”が80%以上。	当 て は ま る 88%	B	全教職員の日々の手厚い支援のおかげで目標を達成することができた。来年度は、様々な困り感を抱えている生徒に対応できるよう、教育相談連絡会が、生徒対応や支援方法を協議する場として機能させる必要がある。
		生徒アンケートで「学校や社会のルールやマナーを守って行動している」が95%以上、保護者アンケートで「土肥分校生は、挨拶や言葉遣い等がしっかりと出来ている」と地域アンケートで「本校生徒の服装・頭髪等は高校生らしいと思います。」が75%以上。	生徒アンケート 当 て は ま る 90% 保護者アンケート 当 て は ま る 74% 地域アンケート 当 て は ま る 84%	B	生徒自身がルールを決める取り組みを強化したい。
		新体力テスト8種目中4種目で、前年度（1年生は春）の記録を更新した生徒が60%以上。	記 録 更 新 71.8%。	A	記録更新71.8%。今年度は1年生の記録更新割合が大きかった。楽しめるトレーニング方法を検討したい。
		1日3回の食事を摂り生活リズムを作る。朝食摂取率80%以上。定期的な生活実態調査で、実態を把握する。健康講座を通して健康への関心を高め、健康な生活を実践できるよう継続的に指導する。毎日、6時間以上寝ている生徒80%以上。毎日、規則正しく生活している生徒70%以上。	朝 食 摂 取 率 80% 毎日6時間以上寝ている生徒70% 規則正しい生活をしている生徒65%	B	朝食摂取率は年度後期にかけて改善することができた。睡眠時間が不十分な生徒が多いため、睡眠の重要性に気付く講座や教科と連携した取り組みをしていく必要がある。規則正しい生活をする生徒の割合を増やすために、日々の健康観察や生徒の学校生活の充実を図っていく必要がある。

様式第3号

イ	生徒一人ひとりに対応した学習指導、進路指導体制の確立を図る。	生徒アンケートで「学校は、進路について計画的に指導している」が80%以上、「進路行事によって、将来の仕事への意識が高まった」が80%以上。	「学校は、進路について計画的に指導している」 当てはまる88% 「進路行事によって、将来の仕事への意識が高まった」 当てはまる80%	B	今後も個別指導を中心として、進路決定に向けた活動をしていきたい。 また、上級学校、企業から直接、お話を伺う機会を増やすことによって、生徒らの進路選択の幅を広げるとともに、自己理解を深める手助けをしていきたい。
		生徒アンケートで「本校入学後、学力が向上した。」あてはまる”が60%以上	当てはまる71%	A	過去3回の中ではもっともよい結果となった。今後も観点別評価が生徒の学習改善につなげられるように取り組んでいく
		生徒アンケート「授業の内容がよくわかる」の“当てはまる”が80%以上。	当てはまる85%	A	よく当てはまるの結果が、昨年度26%から大幅に改善。 生徒が自身の成長を実感でき、結果につながるような働きかけを実践していく。
		生徒アンケートで「朝読書・朝学習の時間を有効に使っている」が80%以上	当てはまる78%	B	一日の学習を落ち着いて始めるための良い時間だった。(2年部) 基礎学力の定着を狙い、SPIの問題集に取り組んできたが、生徒たちには難しい内容だったようだ。生徒たちの学習レベルに合わせながらも、進路実現にむけた学習を進めていくことが望ましい。 もしくは、生徒たちに時間の使い方を任せてしまってもよかったのかもしれない。(3年部)
ウ	学校行事や体験学習の充実と精選を図り、自己肯定感、自己有用感を育む。	生徒アンケート「学校行事に満足している」が80%以上	当てはまる83%	A	生徒会を通じて、主体的に取り組む意識を高められた。この取り組みを継続・発展させたい。
		「土肥分校入学後、様々な活動をするによって、少しずつ自分に自信が持てるようになった」が70%以上	当てはまる88%	A	学校生活のいろいろな場面において、生徒一人ひとりに活躍の場を与えることができた。今後も生徒一人ひとりに目を向けて行事等を行っていく。(教務課) TOIゼミの活動の中で、進路活動としてのソーシャルスキルトレーニングや複数で課題の解決にあたるような活動を増やすことによって、“進路実現”を目標にしながらも、社会生活に必要な能力を育成することができ、土肥分校生が苦手としてる“対人能力”が向上することで“自己肯定”にも繋がるのではないかと考える。(進路課)
		生徒アンケート「学校生活が楽しい」の“当てはまる”が80%以上。	当てはまる85%	A	土肥分校入学生には不登校生徒も多く、学校行事に参加してこなかったり、クラブ活動、委員会活動に一切関わってこなかったりしたことがある。 そのため、これまでやってこなかったことに挑戦してみると、生徒たちは自分の成長を感じられるのではないだろうか。 「新しいことに挑戦する」ことを極端に嫌

様式第3号

					う生徒が多いため、教員は指導が大変だが、背中を押してあげることも必要なのかもしれない。(3年部)
エ	家庭との連携強化を図る。	保護者アンケートにおいて「学校は保護者や地域との連携を深め、保護者や地域の理解を得ている。」が80%以上。	当てはまる78%	B	P T A模擬店やマラソン大会の監察の保護者参加率は下がり、新たな形を検討する必要があるか。マチコミ、SNS等での連携を強化していく。
		保護者アンケートで「学校はホームページや土肥高通信、学年だより、学級通信等で、生徒の様子をよく伝えている」70%以上。	当てはまる70%	A	学校ホームページを刷新し、SNSを通じて生徒の様子などを積極的に発信した。今後も継続していく。
オ	地域、本校、異校種との連携、協働を推進する。	地域住民アンケートで「土肥高通信を読んだことがある」が80%以上。	当てはまる85%	A	全職員で協力して取り組むことで、今年度は定期的に発行することができた。
		生徒アンケートで「地域の活動に参加した」または「本年度、ボランティア活動に参加した」が50%以上。	当てはまる58%	A	ボランティア委員の意欲的な姿勢と、周囲への呼びかけのおかげで目標を達成できた。
		生徒アンケートで「災害が起きた時の準備や心構えができています。」が80%以上。	当てはまる63%	B	自衛隊による防災講座を実施したり、地域防災訓練への参加を呼び掛けたりしたが、まだ十分に準備や心構えができていない生徒もいる。自分の防災対策や発災時の避難行動を発表するなど、自分事として考えるような機会が必要か。
		生徒アンケートで「本校との交流について、積極的に参加して成長することができた。」が60%以上。	当てはまる63%	A	本校の部活動参加1名(硬式野球部)。部活動参加の素地を作ることができた。
カ	校務、学校行事等の見直し、精選を行い、勤務の環境を整える。	勤務超過時間年間360時間以内	勤務超過時間年間360時間以上0名	A	適切に年休など取得することも含め、今後も職員の勤務環境の整備にあたりたい。
		法定安全点検の実施し、学校施設における事故発生数を0件。	各学期において、安全点検の実施等を行った。	B	事故発生に至らないが、老朽化に伴い修繕すべき箇所があるため、予算がつき次第修繕を行いたい。
		職員安全衛生委員会の月1回程度開催、職場の健康づくり講座の開催、教育DXの推進。	職員安全衛生委員会を毎月1回開催し、職場及び職員の健康・安全について話し合うことができた。	B	月に1回話し合いの機会を設けることで職員の共通認識のもと、よりよい職場環境の形成に向けて効果的に動くことができた。 課題としては、委員会の活動の一環として行った職場の健康づくり講座の参加率が低く、開催時期や周知方法等について再度検討する必要がある。